



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 古河機械金属株式会社 上場取引所 東
コード番号 5715 URL <https://www.furukawakk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中戸川 稔
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田近 強 TEL 03-6636-9502
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	47,657	0.4	2,296	△16.9	3,130	△26.6	2,258	△7.2
2024年3月期第1四半期	47,472	△9.8	2,761	25.9	4,267	23.4	2,434	3.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,142百万円 (△57.6%) 2024年3月期第1四半期 5,057百万円 (264.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	60.72	—
2024年3月期第1四半期	63.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	267,866	133,345	48.5
2024年3月期	259,878	133,272	50.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 129,930百万円 2024年3月期 129,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	91,000	△4.0	3,700	△19.6	3,700	△39.1	10,000	△22.6	268.89
通期	187,700	△0.3	8,700	2.1	8,000	△23.0	14,000	△13.0	376.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	40,445,568株	2024年3月期	40,445,568株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,255,793株	2024年3月期	3,255,730株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	37,189,789株	2024年3月期1Q	38,115,979株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
2025年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	47,472	47,657	185
営業利益(百万円)	2,761	2,296	△465
経常利益(百万円)	4,267	3,130	△1,137
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	2,434	2,258	△176

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日から同年6月30日まで)の我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復しました。企業収益は全体として改善しています。一方、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響、中国経済の先行き懸念やウクライナおよび中東地域をめぐる情勢など、海外経済の減速が我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

このような経済環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、476億57百万円(対前年同期比1億85百万円増)、営業利益は、22億96百万円(対前年同期比4億65百万円減)となりました。産業機械部門は増収減益、ロックドリル部門およびユニック部門は減収減益となり、機械事業全体では、増収減益となりました。素材事業では、金属部門および電子部門は減収減益、化成品部門は増収増益となり、全体では減収減益となりました。また、不動産事業は増収増益となりました。営業外収益に受取配当金4億84百万円ほかを計上した結果、経常利益は、31億30百万円(対前年同期比11億37百万円減)となりました。税金費用7億74百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、22億58百万円(対前年同期比1億76百万円減)となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

〔産業機械〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	2,348	4,847	2,499
営業利益(百万円)	△4	△217	△212

産業機械部門の売上高は、48億47百万円(対前年同期比24億99百万円増)、営業損失は、2億17百万円(対前年同期比2億12百万円の損失増)となりました。売上高については、マテリアル機械は、本体の出荷増および砕石プラントの出来高増により、増収となりました。コントラクタ事業は、橋梁の飯沼川高架橋や鷹栖第一橋ほか2橋などについて、出来高に対応した売上高を計上し、増収となりました。営業利益については、マテリアル機械においてプラント工事の遅延等に伴う追加原価の発生があり、損失計上となりました。

〔ロックドリル〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	9,350	8,875	△475
営業利益(百万円)	961	846	△115

ロックドリル部門の売上高は、88億75百万円(対前年同期比4億75百万円減)、営業利益は、8億46百万円(対前年同期比1億15百万円減)となりました。国内については、油圧クローラドリルおよびトンネルドリルジャンボ本体の出荷減により、減収となりました。海外については、北米における油圧クローラドリルの販売増に加え、円安による増収効果もありましたが、北米での油圧ブレーカの需要が一服したことにより、減収となりました。

〔ユニック〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	7,167	6,999	△167
営業利益(百万円)	446	340	△106

ユニック部門の売上高は、69億99百万円(対前年同期比1億67百万円減)、営業利益は、3億40百万円(対前年同期比1億6百万円減)となりました。国内については、依然としてトラックの供給台数が不安定な状況が続く中、ユニッククレーンの出荷は前年並みとなりましたが、ユニックキャリアの出荷減により、減収となりました。海外については、ユニッククレーンはアジア、中東地域向けの出荷が増加しましたが、ミニ・クローラクレーンは北米、欧州地域向けの出荷が減少し、減収となりました。

《機械事業合計》

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	18,866	20,722	1,856
営業利益(百万円)	1,404	970	△434

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、207億22百万円(対前年同期比18億56百万円増)、営業利益は、9億70百万円(対前年同期比4億34百万円減)となりました。

〔金 属〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	23,049	21,441	△1,608
営業利益(百万円)	933	887	△45

金属部門の売上高は、214億41百万円(対前年同期比16億8百万円減)、営業利益は、8億87百万円(対前年同期比45百万円減)となりました。電気銅の海外相場は、8,920.00米ドル/トンで始まり、投機筋による買いが継続したことから、5月20日には、2年ぶりに最高値を更新する10,857.00米ドル/トンをつけました。その後は、投機筋による利益確定売りと中国の不動産不況懸念が再燃したことなどにより弱含み、期末には9,476.50米ドル/トンとなりました。電気銅の生産量は11,586トン(対前年同期比1,662トン減)となり、販売数量が減少したものの、海外相場の上昇と円安により、増収となりました。一方、電気金は、販売数量の減少により、減収となりました。

〔電 子〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	1,765	1,507	△258
営業利益(百万円)	173	△3	△176

電子部門の売上高は、15億7百万円(対前年同期比2億58百万円減)、営業損失は、3百万円(前年同期は1億73百万円の利益)となりました。窒化アルミセラミックスは、半導体製造装置向け部品の需要に復調の兆しがあり、増収となりましたが、結晶製品は、ユーザーの在庫調整の影響により、また、コイルは、一部自動車メーカーの出荷停止などの影響により、減収となりました。

〔化成品〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	2,341	2,467	125
営業利益(百万円)	211	244	32

化成品部門の売上高は、24億67百万円(対前年同期比1億25百万円増)、営業利益は、2億44百万円(対前年同期比32百万円増)となりました。酸化銅は、パソコンおよびスマートフォン向けに加え、サーバー等に使用されるパッケージ基板向けの需要も落ち込んでいますが、銅価の上昇と販売構成の変化により販売単価が上昇したため、増収となりました。亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要が好調であることに加え、銅価の上昇と価格改定により販売単価が上昇し、増収となりました。

《素材事業合計》

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	27,156	25,415	△1,740
営業利益(百万円)	1,318	1,128	△190

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、254億15百万円(対前年同期比17億40百万円減)、営業利益は、11億28百万円(対前年同期比1億90百万円減)となりました。

〔不動産〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	443	511	68
営業利益(百万円)	112	185	72

不動産事業の売上高は、5億11百万円(対前年同期比68百万円増)、営業利益は、1億85百万円(対前年同期比72百万円増)となりました。主力ビルである室町古河三井ビルディング(商業施設名: COREDO室町2)は、商業施設の売上げに応じて発生する変動賃料がコロナ禍前の水準まで回復し、また、オフィスについては、空室率改善により増収となりました。

〔その他〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	1,006	1,007	0
営業利益(百万円)	△60	34	95

金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を行っています。売上高は、10億7百万円(対前年同期比0百万円増)、営業利益は、34百万円(前年同期は60百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第1四半期連結会計期間末	対前連結会計年度末増△減
総資産（百万円）	259,878	267,866	7,988
負債（百万円）	126,605	134,521	7,915
（うち有利子負債 （百万円））	58,389	64,340	5,951
純資産（百万円）	133,272	133,345	72
自己資本比率（%）	50.0	48.5	△1.5

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,678億66百万円で、前連結会計年度末に比べ79億88百万円増加しました。これは主として、現金及び預金が減少したこと、商品及び製品、原材料及び貯蔵品、また、金属原料鉱石代の支払いにより、流動資産の「その他」に含まれる前払金が増加したことによるものです。有利子負債は、643億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億51百万円増加しました。純資産は、1,333億45百万円で、前連結会計年度末に比べ72百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月13日に公表しました業績予想から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,513	13,992
受取手形、売掛金及び契約資産	30,408	31,702
商品及び製品	20,044	22,421
仕掛品	13,670	12,788
原材料及び貯蔵品	13,699	16,853
その他	3,350	10,773
貸倒引当金	△50	△45
流動資産合計	99,636	108,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,365	25,187
土地	51,765	51,709
その他(純額)	16,914	14,773
有形固定資産合計	92,045	91,670
無形固定資産	342	329
投資その他の資産		
投資有価証券	47,383	46,247
その他	22,897	23,010
貸倒引当金	△2,426	△1,878
投資その他の資産合計	67,853	67,379
固定資産合計	160,241	159,379
資産合計	259,878	267,866

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,267	17,152
電子記録債務	11,135	10,953
短期借入金	6,558	13,219
未払法人税等	3,169	750
引当金	356	452
その他	16,183	18,415
流動負債合計	51,669	60,943
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	46,831	46,121
引当金	20	27
退職給付に係る負債	956	965
資産除去債務	234	235
その他	21,893	21,227
固定負債合計	74,935	73,577
負債合計	126,605	134,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
資本剰余金	2	2
利益剰余金	73,046	73,259
自己株式	△4,707	△4,708
株主資本合計	96,549	96,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,342	22,721
繰延ヘッジ損益	36	△136
土地再評価差額金	2,575	2,575
為替換算調整勘定	2,232	2,958
退職給付に係る調整累計額	5,172	5,049
その他の包括利益累計額合計	33,358	33,168
非支配株主持分	3,365	3,415
純資産合計	133,272	133,345
負債純資産合計	259,878	267,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
売上高	47,472	47,657
売上原価	39,902	40,626
売上総利益	7,570	7,031
販売費及び一般管理費	4,808	4,735
営業利益	2,761	2,296
営業外収益		
受取配当金	500	484
持分法による投資利益	88	274
為替差益	950	464
その他	412	134
営業外収益合計	1,952	1,358
営業外費用		
支払利息	119	128
休鉱山管理費	216	254
その他	109	140
営業外費用合計	446	524
経常利益	4,267	3,130
特別利益		
投資有価証券売却益	28	6
補助金収入	—	12
ゴルフ会員権売却益	—	11
その他	1	1
特別利益合計	30	32
特別損失		
減損損失	—	63
賃貸ビル解体費用	458	—
その他	56	21
特別損失合計	514	84
税金等調整前四半期純利益	3,783	3,078
法人税、住民税及び事業税	417	565
法人税等調整額	859	208
法人税等合計	1,277	774
四半期純利益	2,506	2,303
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,434	2,258

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,506	2,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,938	△620
繰延ヘッジ損益	△500	△172
為替換算調整勘定	154	754
退職給付に係る調整額	△33	△122
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	—
その他の包括利益合計	2,550	△161
四半期包括利益	5,057	2,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,963	2,068
非支配株主に係る四半期包括利益	93	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日。以下「実務対応報告第46号」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、実務対応報告第46号第7項を適用しているため、当第1四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。この結果、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,068百万円	1,188百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	2,348	9,350	7,167	23,049	1,765	2,341
セグメント間の 内部売上高又は振替高	796	1	93	58	—	14
計	3,144	9,352	7,260	23,108	1,765	2,355
セグメント利益又は損失 (△)	△4	961	446	933	173	211

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	443	46,465	1,006	47,472	—	47,472
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	966	469	1,436	△1,436	—
計	445	47,432	1,476	48,909	△1,436	47,472
セグメント利益又は損失 (△)	112	2,835	△60	2,775	△13	2,761

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△13百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	4,847	8,875	6,999	21,441	1,507	2,467
セグメント間の 内部売上高又は振替高	771	1	50	61	—	14
計	5,619	8,876	7,050	21,502	1,507	2,481
セグメント利益又は損失 (△)	△217	846	340	887	△3	244

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	511	46,650	1,007	47,657	—	47,657
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	901	490	1,392	△1,392	—
計	514	47,552	1,497	49,049	△1,392	47,657
セグメント利益又は損失 (△)	185	2,283	34	2,318	△22	2,296

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△22百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△29百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ロックドリル」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては63百万円であります。

2025年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2024年8月7日
古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位：百万円 単位未満切捨て)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	18,866	20,722	1,856
産業機械部門	2,348	4,847	2,499
ロックドリル部門	9,350	8,875	△475
ユニック部門	7,167	6,999	△167
素材事業	27,156	25,415	△1,740
金属部門	23,049	21,441	△1,608
電子部門	1,765	1,507	△258
化成品部門	2,341	2,467	125
不動産事業	443	511	68
その他	1,006	1,007	0
【合計】	47,472	47,657	185

2025年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
41,400	1,097	84,300	2,214
8,600	2,545	19,100	3,551
17,800	△2,161	33,400	△5,282
15,000	713	31,800	3,946
46,500	△5,003	97,000	△3,388
38,500	△4,859	80,100	△4,612
3,100	△440	7,400	633
4,900	296	9,500	591
1,000	96	2,100	226
2,100	16	4,300	391
91,000	△3,793	187,700	△555

〔営業利益〕

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	1,404	970	△434
産業機械部門	△4	△217	△212
ロックドリル部門	961	846	△115
ユニック部門	446	340	△106
素材事業	1,318	1,128	△190
金属部門	933	887	△45
電子部門	173	△3	△176
化成品部門	211	244	32
不動産事業	112	185	72
その他	△60	34	95
(計)	2,775	2,318	△456
調整額	△13	△22	△9
【合計】	2,761	2,296	△465

2025年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
2,200	△381	6,800	1,103
100	383	1,500	1,110
1,400	△746	2,900	△1,248
700	△17	2,400	1,241
1,300	△612	1,500	△1,265
900	△354	500	△1,445
0	△274	400	187
400	16	600	△8
300	73	600	129
△100	△13	△100	193
3,700	△934	8,800	161
0	34	△100	14
3,700	△899	8,700	175

〔為替・銅価〕

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	対前年同期増減
為替 円/\$	137.4	155.9	18.5
銅価 \$/mt	8,478	9,751	1,273

2025年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
152.9	11.9	151.5	6.8
9,376	959	9,188	826

※参考情報 (以下の数値は参考値です)

1. 産業機械部門受注残

産業機械については主に受注生産を行っており、当第1四半期会計期間末における受注残を示すと、次のとおりです。

	2024年3月期 第1四半期会計期間末	2025年3月期 第1四半期会計期間末	対前年同期増減
受注残	163億円	141億円	△21億円

2. 金属部門の金属価格変動影響による損益について

	2024年3月期 第1四半期累計期間	2025年3月期 第1四半期累計期間	対前年同期増減
営業利益	9.3億円	8.8億円	△0.4億円
内価影響分	7.0億円	6.0億円	△0.9億円
銅	(3.0億円)	(3.6億円)	(0.6億円)
金	(3.6億円)	(2.0億円)	(△1.6億円)